

5月4日：売り圧力が高まりベトナム株は下落

5月4日のベトナム株式市場は下落、ホーチミン取引所のVN指数は7ポイントほどの下落を記録した。

資金の流入がわずかな中で市場は5月最初の取引日に下落して取引が始まった。

指数は午後に入ってから市場を支えるニュースが無かったことや売り圧力が高まったことで下落基調が続いた。

最終的に、VN指数は6.64ポイント（0.86%安）下落し762.47ポイントで取引を終えた。251銘柄が下落したのに対して110銘柄が上昇した。

出来高はホーチミン市場で14.2%増加し2億8550万株であった。売買代金は4.5%下落し4兆ドンになった。

VN30指数の内の22銘柄が下落し8銘柄が上昇した。バオベトホールディングス（BVH）、サイゴンビール（SAB）の2銘柄が大きく下落。4.5%ほどの下落をした。

ホアファットグループ（HPG）、ビナミルク（VNM）、マッサングループ（MSN）などはそれぞれ2.3%、1.4%、2.3%安となった。

銀行株では、HDバンク（HDB）が上昇を続け4.4%高の21,550ポイントで取引を終えた。その他の銀行株は下落した。

ペトロベトナムパワー（POW）は強い利益確定圧力にさらされ、ストップ安の9820ドンで取引を終えた。出来高は980万株だった。

一方、ビンググループの子会社2社は相場下落に反して上昇した。ビンホームズ（VHM）は2%高の64,900ドン、ビンコムリテール（VRE）も1.5%高となった。この2銘柄の上昇では相場下落を止めることはできなかった。

ハノイ取引所でも売りが優勢でHNX指数はマイナス圏で取引を終えた。同指数は1.12ポイント（1.05%）安の105.72ポイントで取引を終えた。59銘柄の上昇に対し92銘柄が下落した。



大きく上昇したのは、アジアコマーシャル銀行（ACB）、サイゴンハノイ銀行（SHB）などでそれぞれ1%、1.9%安となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。